



箕輪進修高校 進路指導室

2011. 11. 24

No. 64



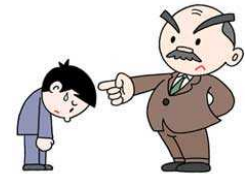
## 挨拶は人間関係の潤滑油

企業の方によく言われることは「きちんと挨拶の出来る子が欲しい」ということです。例えば職場の中ですれちがったとき、相手がきちんと挨拶してくれると気持ちの良いものです。その逆はどうでしょうか。相手が自分より若い人で挨拶をしなければ、なおのこと「こいつは何を考えているんだ」ということになり、何となく相手に不信感を抱きそれから次第に気まずい思いをするということがあります。

たった一言の「おはようございます」「こんにちは」「さようなら」という言葉を言わなかったことで人間関係が気まずくなるとすれば、何とも残念な話です。しかし**最近の若い人にはこうした一言の挨拶が往々にして欠けがち**なのも確かです。たとえ普段から何となく相手に好意を感じない人であっても、挨拶を交わしている中でいつしか互いの距離が近づき、相手への誤解が解けることもあります。

職場の中でうまくやっていくためには、「挨拶は人間関係の潤滑油」ということをよく肝に銘じて欲しいものです。特に**若いときは相手が挨拶してくれるのを待つのではなく、自ら進んで挨拶をするように心がけましょう。**

## けじめを付ける



先日進路室でこんな話題が出ました。「ある卒業生が会社で仕事に自販機でジュースを買い飲んでいる姿を社長に見つかりお叱りを受けた」とのこと。職員室に入ってきた生徒が先生の机の上のものを勝手にいじり、職員に注意されるということもたまに見かける風景です。

いずれもけじめを忘れた行為といえるでしょう。世の中には当然わきまえてはならないことがあります。そうしたけじめをわきまえない生徒を時々見かけます。学生のうちは甘く許されることでも、**社会に出ると許されないことがあります**。小さいときにきちんと躰けられていないために何がけじめかわからないという面があるかもしれませんが、であるとすればなおのこと事の善し悪しをきちんと見分ける神経を磨いて行って欲しいものです。まして**一度注意されたことはしっかり学習すること**です。「そんなことどうだっていいじゃんか」と甘い判断をしていると、社会では周囲から白い目で見られますよ。皆さんの子供が同じように育っていけば社会のルールはどうなってしまうのでしょうか。

世の中で長い間かけ築き上げられた社会的ルールがまさにけじめといえるでしょう。あなたより若い人がそうしたときあなたはどう思うか、そうした観点でけじめを見つめると意外にけじめとは何か分かってくるでしょう。（それが分かるには少し時間がかかるのかな？）

自今にも、人にも、  
レッテルを貼らないほ  
うがいい。  
人間は変わる動物  
だ。人との出会い、  
触れ合うことで、人間  
は変わっていく。

（「空気が読まない」  
鎌田實）